

審議会等の会議結果報告書

課所名

水道局営業課

会議名 令和3年度 第3回 諏訪市公営企業運営審議会

開催日時 令和3年3月24日(木) 午後2時00分より

出席者 <委員> (敬称略)
藤森 貫治(会長)、渋江 利明(副会長)、有賀 秀子、辰野 博之、松木 義文、
守屋 輝代、吉澤 敏子
(欠席) 吉江 徳男
<諏訪市(事務局)>
茅野 徳雄(水道局長)、後藤 浩美(営業課長)、山寺 弘文(施設課長)、
成田 大悟(営業課庶務係長)、後藤 準市(営業課料金係長)、
乙黒 勝美(施設課上水道係長)、矢崎 泰宏(施設課温泉係長)、
蟹江 利成(施設課下水道係長)、武居 正剛(営業課庶務係主査)

資料
・令和4年度諏訪市公営企業会計予算書
・公営企業会計の予算構造と経営サイクル(カラー資料)

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告

- (1) 令和4年度諏訪市水道事業会計予算について
- (2) 令和4年度諏訪市温泉事業会計予算について
- (3) 令和4年度諏訪市下水道事業会計予算について

【質疑等の要旨】

(委員)

資料の3ページの下水道事業会計予算の一番下に、次年度から減価償却費が発生し、補てん財源となると書いてあるが、減価償却費は今までも発生しているはずだが、どういう意味か。

(事務局)

4条予算の事業については、期末に資産に計上し、翌年度から減価償却費が発生していくことになる。

(委員)

減価償却費が補てん財源の一部となるという理解でよいか。

(事務局)

そういう理解になる。

4 その他

【質疑等の要旨】

(委員)

四賀地区は新井の水という認識でいるが、万が一新井の水が止まってしまったらどこに水を汲みに行けばよいのか。四賀なら旧道まで行けばよいのか。清水まで行けばよいのか。

(事務局)

断水の範囲や原因を調査して、必要な場所に給水車を出すことになる。給水車は公民館などに出すことになるが、どこに出すのかは区長を通じて連絡したり防災行政無線で放送したりして周知することになる。

(委員)

市の給水車にも限りがある。自然流下で汲めるところはないのか。

(事務局)

断水の原因により状況も異なるため、自然流下で汲むポイントを事前に案内することは難しい。もし断水範囲が広範囲となったり長期化したりする場合には、日本水道協会にお願いして、他の市町村から給水車を派遣していただくなどの対応を検討する。

(委員)

近くに用水があれば、下水に流せることはできるが、飲み水はそうはいかない。事前にわかっていたら安心できるので、検討していただきたい。

(委員)

水道料金の値上げについて予定はないか。全国的にも老朽化が進んでいること、人口の減少によって料金が上がると聞いている。

(事務局)

水道事業ビジョンでは、令和5年度の値上げを想定している。昨年12月に開催した審議会で説明させていただいたが、令和2年度の決算は非常に厳しかったものの、必要なことはやりつつ、支出を抑えることで、現段階では令和5年度に想定していた値上げを行わなくてもよいのではないかと報告させていただいたところ。今後も経営努力を継続していきたい。また、経営状況については随時この委員会に報告し、値上げが必要となれば、まずこの委員会に諮問させていただくことになる。

(委員)

下水道管を1km 交換するにはどのくらいの費用がかかるのか。

(事務局)

場所や状況により異なるため、一概にいくらとお示しすることは難しい。1km 変えるのに3億5千万円程かかるとの試算もあるが、正確な数値をお伝えすることは難しい。現在全国的に下水道管の布設替えではなく管更生と言い、既存の下水道管を改築し蘇らせる工事が主流である。管更生は、布設替えに比して3分の2の費用で効果が得られるといわれている。全国的な流れは、日々点検をしっかりと、できるだけ長く使えるようにメンテナンスをしていくという流れになってきている。

(委員)

水道事業の予算の説明でも収入が減っていると言っていたが、今後人口減少に伴ってますます減っていくと思う。特に一般家庭の水量が減っていくと思うがいかがか。

(事務局)

コロナが流行し、巣ごもりが流行っていたころは、以前に比して家事用の水量が伸びていた。逆に営業用が大幅に減少した。このところ長引くコロナの影響もあってか、家事用の水量が減ってきているところ。

(委員)

水量、水道料金ともにコロナ前の水準に回復してきているのか。

(事務局)

共にコロナ前の水準には戻っていない。令和3年度も間もなく終わるところであるが、今年度についても旅館業の休業や飲食店の時短要請などがあったため、特に営業用の水量が依然少ない状況である。

(委員)

最近諏訪市のハザードマップが改定された。水源がある新井は茅野市地籍になるが、諏訪市のハザードマップを作るにあたり、茅野市とすり合わせなどをして作ったのか。

(事務局)

担当の企画部危機管理室に確認し、後刻回答したい。

(委員)

先日家の近くで下水道工事をしていたが、同時にガスの工事をやっていた。工事業者は違ったが、一緒にやってくれたので生活への不便が少なかった。掘るも、埋めるも1回で済み、効率的でよかったと思う。引続き工夫して工事してほしい。

温泉事業については、契約者が減ってきており、今後を心配している。

(委員)

温泉料金の値上げなどは予定しているのか。

(事務局)

温泉事業経営戦略では、策定期間 10 年間で料金改定は想定していない。収入は減っているが、必要なことは行っており、利益も確保できている。経営状況については随時この審議会に報告する。今後料金改定について必要が生じた場合にはまずこの審議会に諮問することになる。

(委員)

共同浴場について。手すりなどをつけるための補助ができないか。

(事務局)

健康福祉部社会福祉課で共同浴場のバリアフリーに関する補助金があると思うが、後刻回答したい。

5 閉会